

第2回 北陸地域における
カーボンニュートラルポート（CNP）新技術等活用検討ワーキングチーム
議 事 概 要

日 時 : 令和4年10月17日（月）13:30～16:00

場 所 : アートホテル新潟駅前 4階 佐渡

（対面・オンライン会議（Microsoft Teams）併用形式）

議 事 概 要

- (1) 構成員の追加等について [北陸地方整備局] 【資料1】
- (2) 本日の議論の進め方 [北陸地方整備局]
 - 事務局から本日の議論の進め方及び今後のスケジュールについて説明した。
- (3) 富山におけるCNに向けた水素燃料アンモニア検討動向について [北酸]
 - 北酸株式会社から水素・燃料アンモニアの検討動向について説明があった。
- (4) 自立型水素発電装置の概要と港湾空間での利活用提案
[東芝エネルギーシステムズ]
 - 東芝エネルギーシステムズ株式会社から自立型水素発電装置の港湾空間での利活用について説明があった。
- (5) 水素エンジンH2ICEご紹介～国内港湾向け～ [ジャパンハイドロ]
 - ジャパンハイドロ株式会社から国内港湾向けに水素エンジンの活用について説明があった。
- (6) メタノール燃料電池の概要と利活用事例のご紹介 [三菱ガス化学]
 - 三菱ガス化学株式会社からメタノール燃料電池の利活用事例について説明があった。
- (7) 検討に向けての論点整理 [北陸地方整備局]
 - 事務局から検討に向けての論点整理として「新技術等の導入に向けて」、「CNP新技術等導入の区分整理」、「CNP新技術等実証試験のモデルプランニング・ロードマップ」、「CNP新技術等活用に向けたプラットフォームの在り方」

について説明した。

(8) チームディスカッション（意見交換・質疑）

- 構成員から「検討はコンテナターミナルを先行して行いつつも、次に沿岸部、そしてその先にもどのように広げていくのかを打ち出すことが重要」、「コストと合わせて、例えば燃料を充填する方法や時間なども重要な論点」、「関係する法規の整理等も必要」などの意見があった。

構成員の追加について

1. 追加構成員名（順不同）

- ・ 三菱重工業 株式会社

【 参 考 】

----- 議事の運営について【第1回合同WT資料より抜粋】 -----

1. ワーキングチームは、別紙に掲げる北陸地域における次世代エネルギーサプライチェーンの構築検討又は脱炭素技術の開発・利用に関わる企業の構成員をもって組織する。ただし、構成員等の追加又は関係者の出席は、事務局からの申し出に基づき座長が決定する。
2. 北陸地方整備局管内の重要港湾以上の港湾管理者、相当程度の炭素排出量が見込まれる事業者及び上記1. で示した要件について将来的に関わる意向がある事業者がオブザーバーとして加わることができる。

議事の運営について

北陸地域におけるCNP広域連携輸送検討ワーキングチーム及び北陸地域におけるCNP新技術等活用検討ワーキングチームの運営については、以下のとおりとする（なお、合同開催の場合には、「ファシリテーター」を「座長」と読み替え適用する）。

1. ワーキングチームは、別紙に掲げる北陸地域における次世代エネルギーサプライチェーンの構築検討又は脱炭素技術の開発・利用に関わる企業の構成員をもって組織する。ただし、構成員等の追加又は関係者の出席は、事務局からの申し出に基づき座長が決定する。
2. 北陸地方整備局管内の重要港湾以上の港湾管理者、相当程度の炭素排出量が見込まれる事業者及び上記1. で示した要件について将来的に関わる意向がある事業者がオブザーバーとして加わることができる。
3. ファシリテーターは、ワーキングチームの進行、構成員に発言を促すサポート、議論の流れをまとめる役割を行う。副ファシリテーターは、ファシリテーターを補佐し、ファシリテーター不在の際は、その役割を代理する。
4. 会議は原則、非公開とする。
5. 配付資料の公開又は非公開の判断は、資料作成者と事務局が協議のうえ、事務局が行う。
6. 議事要旨については、原則として会議終了後1か月以内に発言者が特定されない形で概要のみ作成し、構成員への確認のうえ、公開する。
7. ワーキングチームの開催日程については、事前に北陸地方整備局のホームページで公表する。
8. ワーキングチームの構成員及び参加者は、ワーキングチームで知り得た情報（公開された議事次第、配付資料及び議事概要を除く。）を外部に漏らし、又は無断で使用してはならない。
9. ワーキングチームのオブザーバーである港湾管理者が、ワーキングチームでの配付資料や知り得た情報を各々のCNP協議会等で利用する可否は、関係構成員と事務局が協議のうえ、事務局が判断する。
10. 事務局を国土交通省 北陸地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室に置き、ワーキングチームの庶務を行う。
11. 上記のほか、ワーキングチームの運営に関し必要な事項については、事務局がファシリテーターに諮った上で決定する。

北陸地域における

カーボンニュートラルポート（CNP）広域連携輸送検討ワーキングチーム

カーボンニュートラルポート（CNP）新技術等活用検討ワーキングチーム

別紙

構成員名簿（R4.10.17時点）

青字は第2回WTで追加

北陸地域におけるカーボンニュートラルポート（CNP） 広域連携輸送検討ワーキングチーム	北陸地域におけるカーボンニュートラルポート（CNP） 新技術等活用検討ワーキングチーム
<p>（構成員）※50音順</p> <p>株式会社 I H I</p> <p>愛宕商事株式会社</p> <p>伊藤忠商事株式会社</p> <p>伊藤忠プランテック株式会社</p> <p>株式会社 INPEX</p> <p>ヴィーナ・エナジー・ジャパン株式会社</p> <p>国華産業株式会社</p> <p>株式会社 JERA</p> <p>ジャパンハイδρο株式会社</p> <p>デンカ株式会社</p> <p>東北電力株式会社</p> <p>北酸株式会社</p> <p>北陸電力株式会社</p> <p>株式会社三井E&S マシナリー</p> <p>三井物産株式会社</p> <p>三菱ガス化学株式会社</p> <p>三菱重工業株式会社</p> <p>（オブザーバー）</p> <p>敦賀セメント株式会社</p> <p>明星セメント株式会社</p> <p>新潟県</p> <p>富山県</p> <p>石川県</p> <p>福井県</p>	<p>（構成員）※50音順</p> <p>株式会社 I H I</p> <p>伊藤忠商事株式会社</p> <p>伊藤忠プランテック株式会社</p> <p>ヴィーナ・エナジー・ジャパン株式会社</p> <p>株式会社金沢港運</p> <p>ジャパンハイδρο株式会社</p> <p>敦賀海陸運輸株式会社</p> <p>株式会社東芝</p> <p>東芝エネルギーシステムズ株式会社</p> <p>株式会社新潟国際貿易ターミナル</p> <p>伏木富山港港湾運送事業協同組合</p> <p>北酸株式会社</p> <p>北陸電力株式会社</p> <p>株式会社三井E&S マシナリー</p> <p>三菱ガス化学株式会社</p> <p>三菱重工業株式会社</p> <p>（オブザーバー）</p> <p>敦賀セメント株式会社</p> <p>デンカ株式会社</p> <p>明星セメント株式会社</p> <p>新潟県</p> <p>富山県</p> <p>石川県</p> <p>福井県</p>
<p>座長：北陸地方整備局 次長（合同会議のみ）</p> <p>副座長：北陸地方整備局 港湾空港部長（合同会議のみ）</p> <p>ファシリテーター：北陸地方整備局 港湾空港部 計画企画官</p> <p>副ファシリテーター：北陸地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室長</p>	
<p>（事務局）</p> <p>北陸地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室</p>	